

イデックスオイルレポート ~For a week~

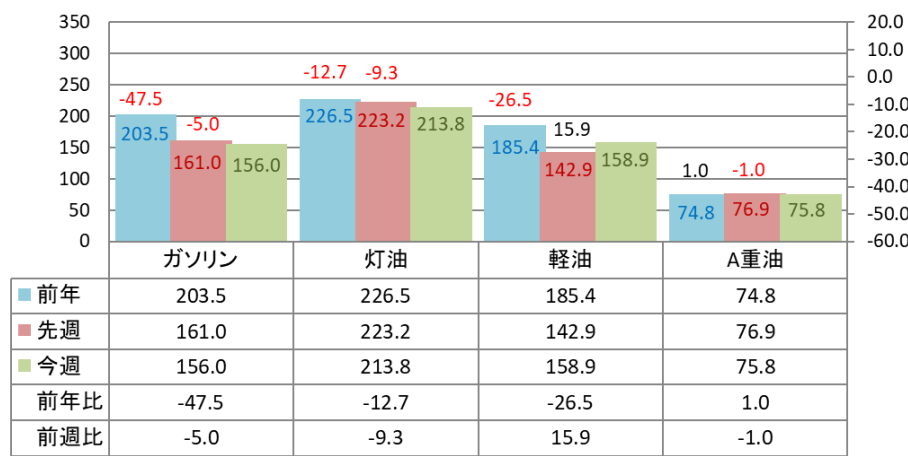
2022/1/14作成 (株)新出光

【概況】<引き続き上昇機運高まる>

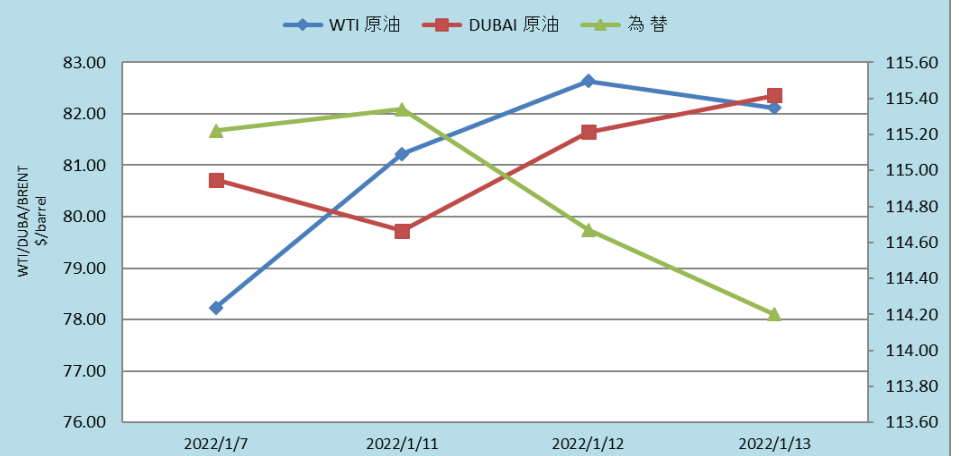
- 7日、米労働省が昨年12月の雇用統計によると、景気動向を敏感に反映する非農業部門の就業者数は前月比19万9000人増となったようです。伸びは前月から鈍化し、市場予想(40万人増)も大幅に下回りました。一方で、失業率は3.9%(前月4.2%)に改善しており、強弱入り交じった内容となったためもみ合いになりました。
- 10日、中央アジアの旧ソ連構成国カザフスタンで発生した反政府デモは、ロシア主導の軍事同盟が平和維持部隊を派遣したことなどをきっかけに沈静化しました。カザフスタン最大規模のテンギス油田では、デモ支持者が鉄道の運行を阻害したことで産油量が一時減少していたものの、通常の操業再開に向けて回復中と伝わったことで下落材料となりました。
- 11日、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長は上院公聴会で、「オミクロン株」の感染拡大による経済への影響について、「一時的」との認識を示しました。エネルギー需要回復への楽観的な見方を後押しする形となり、原油に買いが集まりました。
- 12日、米エネルギー情報局(EIA)が発表した1週間の米原油在庫は前週比460万バレルの大幅減でした。減少幅は市場予想(190万バレル減)を上回りました。7週連続のマイナスで、需給引き締め傾向の継続が示されました。一方、ガソリン在庫は800万バレル増(予想は240万バレル増)、ディスティレート(留出油)在庫は250万バレル増(予想は180万バレル増)となりました。
- 13日、米労働省が発表した昨年12月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比7.0%上昇と、39年半ぶりの高い伸びとなりました。インフレ懸念による米利上げ加速への警戒感がくすぶる中、原油は前日に2カ月ぶりの高値水準に上昇していた反動から、この日は利益確定の売りが出やすく、上昇幅を抑える形となりました。

1月14日 17:00現在 WTI原油 82.20ドル 為替 1ドル 113.77円

国内石油製品在庫 1月8日時点 単位万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ 単位 円



次回元売変動予測

1/20~ 元売変動予測

ガソリン	➡	+1.5~+2.0
灯油	➡	+1.5~+2.0
軽油	➡	+1.5~+2.0
A重油	➡	+1.5~+2.0
LSA	➡	+1.5~+2.0

【製品卸価格】<月間玉販売開始>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに「+2.0円」の値上げ改定でした。原油価格の上昇が続き、今週も値上げとなりました。資源エネルギー庁の発表によると、11日時点でのレギュラーガソリンの全国平均は166.5円となっており、170円での政府による補助金の実施も目前となっています。値上げ改定後の市況としましては、コスモ玉の安値が残り、それに追随する形で、月間リンクの玉の販売もようやく始まってきました。

《1月15日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「+1.5~+2.0円」の値上げ改定予測です。続けて値上げとなりますが、月間玉のコストが大方固まりつつあり、今週と来週の改定後と二段階で販売を進めていくことが予測されます。週末の市況は値上げ改定前ですので、多少の仮需はあるものの、日本海側での雪による出荷規制や配送難など制約があり、販売が進めづらい環境にあります。それとは対照的に、月間玉を扱う広域ディーラーは、価格提示を取りやめる油種が各地で見受けられ、枠消化が進んだか、もしくは次週値上げ後での販売を計画しているのか予測が飛び交っています。

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<水素を活用した新しい製鉄法の開発>

鉄鋼各社は現在使っている石炭由来のコークスの代わりに水素で鉄鉱石の酸素を取り除く手法の確立を目指しており、日本製鉄(株)はその実証を千葉製鉄所で進めています。従来の製鉄法に比べ、CO2排出量を3割以上減らす技術を2030年までに実用化する計画となっており、また高炉でより多くの水素を活用する技術や水素還元技術など、製鉄プロセス全体から化石燃料の使用量を減らし、50%以上削減可能にする技術の開発も同時に進めています。社会の基盤となる製品の材料を供給する鉄鋼業は、製造過程で日本の産業部門全体の40%ものCO2を排出することが課題となっており、この取り組みにより国内のCO2排出削減に大きく貢献することを目指しています。

[出典]

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC075US0X00C22A1000000/>
- ② <https://digitalpr.jp/r/54777>